

● 三重県関係で国の登録有形文化財（建造物）の新登録の答申が行われるものの概要

【名称】	旧平田家住宅主屋（きゅうひらたけじゅうたくしゅおく）	1棟
	旧平田家住宅書院（きゅうひらたけじゅうたくしよいん）	1棟
	旧平田家住宅米蔵（きゅうひらたけじゅうたくこめぐら）	1棟
	旧平田家住宅東蔵（きゅうひらたけじゅうたくひがしくら）	1棟
	旧平田家住宅西蔵（きゅうひらたけじゅうたくにしくら）	1棟
	旧平田家住宅門柱（きゅうひらたけじゅうたくもんちゅう）	1基
	旧平田家住宅中門及び塀（きゅうひらたけじゅうたくちゅうもんおよびへい）	1棟

【所在地】四日市市千代田町

【年代】主屋：明治3年頃／大正10年頃改修、書院：明治17年頃、
米蔵：明治20年頃／大正3年改修、東蔵・西蔵：大正、門柱：大正12年頃、
中門及び塀：明治18年頃

【建築面積】主屋：229㎡、書院：101㎡、米蔵：96㎡、東蔵：17㎡、西蔵：69㎡、
門柱：間口4.2m、中門及び塀：間口1.8m、総延長13m

平田家は、江戸末期から庄屋を務め、その後八郷（やさと）村村長等を務めた旧家です。大正期に建てられた石造の門を入ると、敷地の中央に主屋、中門で区切った西側に書院と庭園、主屋の背後に蔵等が立ち並んでいます。明治3年（1870）に建てられた主屋は木造平屋建てで、当時最新の設備であった電話室が備えられています。いずれの建物も当時の外観や内装がよく残っており、明治から大正期における当地域の名士の屋敷構えを伝える建物群です。



【名 称】旧杉本家住宅主屋（きゅうすぎもとけじゅうたくしゅおく）	1 棟
旧杉本家住宅離れ座敷（きゅうすぎもとけじゅうたくはなれざしき）	1 棟
旧杉本家住宅長屋（きゅうすぎもとけじゅうたくながや）	1 棟
旧杉本家住宅長屋門（きゅうすぎもとけじゅうたくながやもん）	1 棟

【所 在 地】津市白山町八対野

【年 代】主屋：明治前期／明治30年代移築、離れ座敷：明治26年頃／昭和10年改修、
長屋：明治38年頃／昭和30年頃移築、
長屋門：明治前期／明治12年頃移築・平成23年改修

【建築面積】主屋：157㎡、離れ座敷：67㎡、長屋：95㎡、長屋門：23㎡

杉本家は、津市白山町八対野（はったいの）に位置し、農業・林業を営む傍ら、明治期には八ツ山村の村長を務めていました。敷地内には住居である主屋のほか、茶事等の社交の場となった離れ座敷、長屋等が表の庭を囲むように立ち並んでいます。こうした屋敷構えは、当地域における明治期の裕福な農家の住居の在り方をよく示しています。



【名 称】中井家住宅主屋（なかいけじゅうたくしゅおく）

1 棟

【所 在 地】名張市元町

【年 代】昭和7年／昭和40年改修

【建築面積】124㎡

中井家住宅は昭和7年（1932）に耳鼻咽喉科医院として建築された木造2階建の建物です。ペンキ塗りの下見板と欄間付の引違窓を交互に配し、1階窓と2階窓の間に飾り木組みをあしらって外観に変化を持たせています。

昭和6年（1931）に建てられた旧参宮鉄道（現：近鉄）名張駅舎とよく似た造りの建物で、建築された当時の外観、内装が良好に残っています。平成20年に国登録有形文化財となった「川地写真館」とともに、名張市内に残る大正から昭和初期の数少ない洋風建築です。



【名称】旧多気郡役所六角堂（きゅうたきぐんやくしよろっかくどう）

1棟

【所在地】多気郡多気町相可

【年代】大正4年頃／昭和53年移築

【建築面積】50㎡

明治12年（1879）に開庁した旧多気郡役所敷地内に、大正初期に大正天皇の即位記念として建築されたと考えられる施設です。当初は物産陳列所、その後、各種団体事務所や多気町役場として使用されました。役場が昭和53年に現在地に移転した際に移築され、現在は「郷土史料館」となっています。

木造平屋建てで、平面的に正方形の正面隅を切った変則的な六角形を呈し、下見板張り、連窓が特徴の建物です。内部は1室で、天井が高く窓の多い、明るい空間となっています。町村合併や役場移転等の行政制度の変遷にもかかわらず、移築されており、「六角堂」と呼ばれて、地域に親しまれている建物です。



【名 称】片山寺本堂（へんざんじほんどう） 1棟
片山寺土蔵（へんざんじどぞう） 1棟

【所 在 地】度会郡南伊勢町阿曾浦

【年 代】本堂：延宝5年（1677）／大正前期・平成2年改修、土蔵：文化4年（1807）

【建築面積】本堂：176㎡、土蔵：21㎡

南伊勢町阿曾浦にある臨済宗妙心寺派の寺院です。文明16年（1484）開基と伝えられ、明暦元年（1655）に再興されました。本堂は延宝5年（1677）に庫裏とともに建立されたと伝えられます。

背後に山、眼前に海が迫る風光明媚な場所にあり、敷地の中央に本堂、西北に土蔵を配しています。本堂は木造平屋建の建物で、中央の仏間の両脇に2列2室の座敷を配置した、臨済宗本堂としての様子を忠実に守った建物です。土蔵とともに地方における近世臨済宗寺院の様子を伝えています。



外観



内部「室中」